

# いよいよ世界初のネットワーク・エコビレッジ 『あさひミレニアムシティ (海と風の丘ミレニアムシティ)第1期』 2009年(平成21年)オープン予定!!



あの「(仮称)海と風の丘ミレニアムシティ」が、正式名称「あさひミレニアムシティ」として、まもなく着工されることとなりました。この1年の間に、コーポラティブハウスとしての参加者を募集しておりましたが、おかげさまで高い理想と調和の心を持ちあわせたい出資者(購入者)の皆様にごめぐりあうことができ、第1期目のクロッカス(CROCUS※)クラブハウスの全戸が完売となりました。誠にありがとうございました。

現在、詳細な設計作業や、自然エネルギー補助等の調査を進行中です。また、参加者の皆様による話し合いの中で、『あさひミレニアムシティ』への夢や管理規約等の詳細についても、画期的な内容が次々と創作されています。2009年(平成21年)早々に着工し、年内に第1期完成オープンの予定です。

いよいよ世界初のネットワーク・エコビレッジがその姿を現わします。

あさひミレニアムシティ第1期  
(旭市飯岡)

くりもとミレニアムシティ第1期  
(香取市)



※【CROCUS】

C : Community... 運命共同体

R : Ring... 輪、和

O : of

C : Connect... つながれた、関係

U : Universal... 普遍的な、共通の

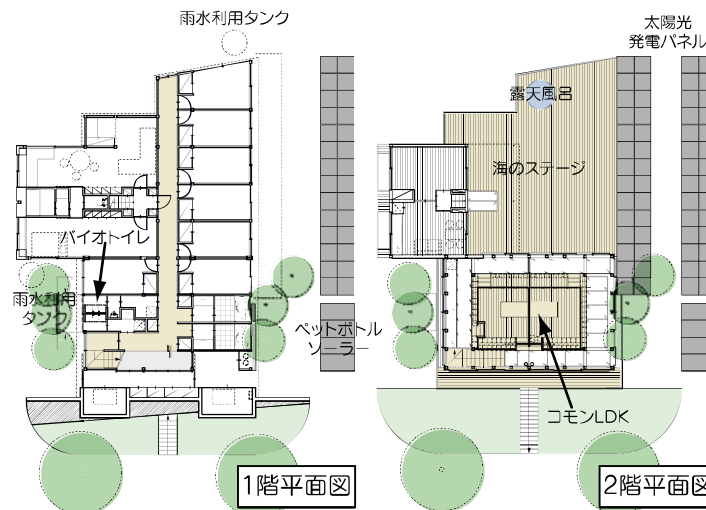
S : Sustainability... 持続可能性



南西側より建物全体を見る

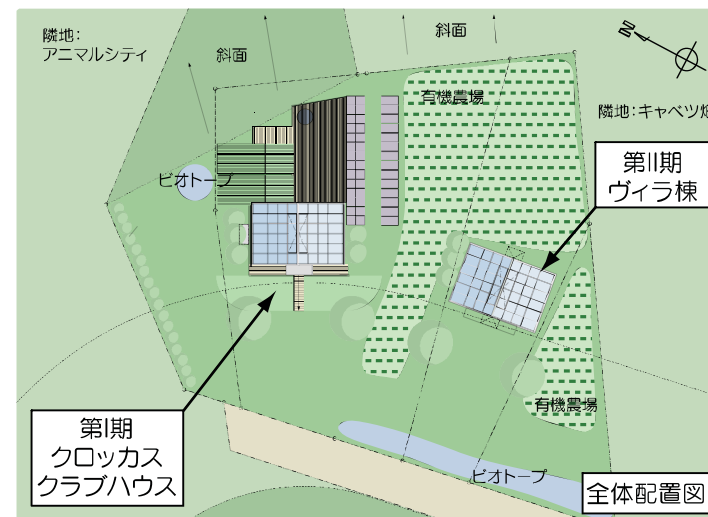


西側より建物全体を見る



1階平面図

2階平面図



第1期  
クロッカス  
クラブハウス

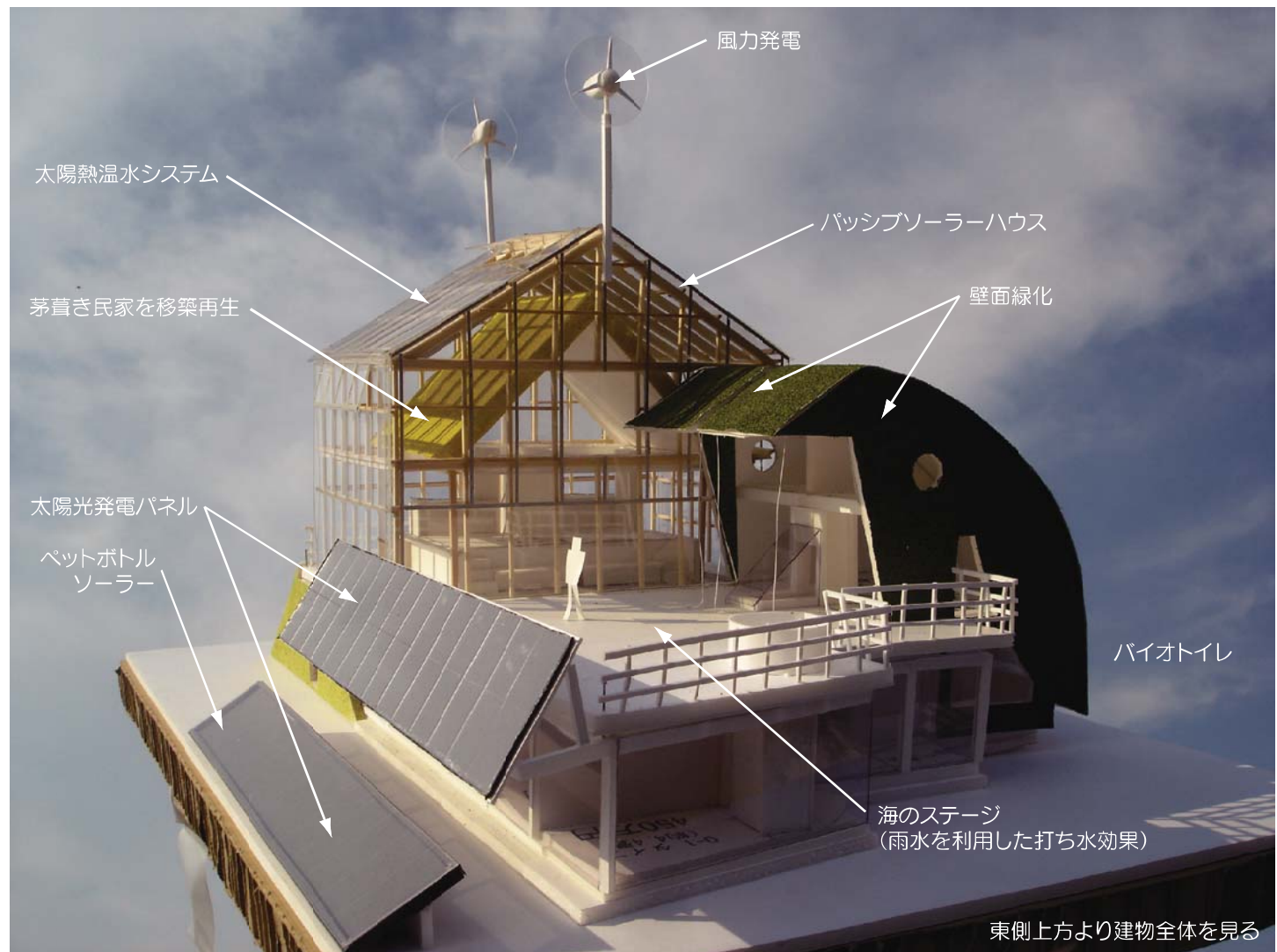
全体配置図

## お金に使われない社会の縮図『ひと楽園モデルエリア』をつくりだす (エネルギーの自給自足、食料の半自給自足を相互扶助、わかちあいでつくりだす)

すべてのものごとはつながっています。特に現在の世界や日本では『お金』につかわれて、様々な問題が深刻化しています。その解決策として、貨幣経済の中にながらもマネーゲームからの脱却のためのコミュニティデザイン(ひと楽園)、エコビレッジデザインのプロトタイプをめざしています。そのための2本柱は、ひとつがコミュニティ通貨『ミレ』の活用、もうひとつがエネルギーと食料等の半自給自足のライフスタイルの確立です。

あさひミレニアムシティでは、建物は自然素材を使ったエコロジーハウスとすることはもちろん、太陽光発電や太陽熱温水システム、ソーラークッカー、風力発電などの自然エネルギーで、エネ

ルギーの自給自足をめざし、有機農業や漁の実践、バイオトイレの堆肥化などで、食料の半自給自足もめざします。また、相互扶助型の住まい方として『ダブルシェアハウス』となる予定です。『ダブルシェアハウス』とは、共用部分をシェアする通常のシェアハウスをさらにタイムシェアリングし、体験の機会や、労働をシェアする機会をなるべく多く提供するためのシステムです。さらに定住ハウスとおためし別荘を混在させることで、定住と住みかえの長所を合わせつつコネクトハウジングとなり、『くりもとミレニアムシティ』とも相互利用をはかることで、世界初のネットワーク・エコビレッジが現われるわけです。しかももちろん「おしゃれに、粋に、遊び心をもって」です。



風力発電

太陽熱温水システム

パッシブソーラーハウス

茅葺き民家を移築再生

壁面緑化

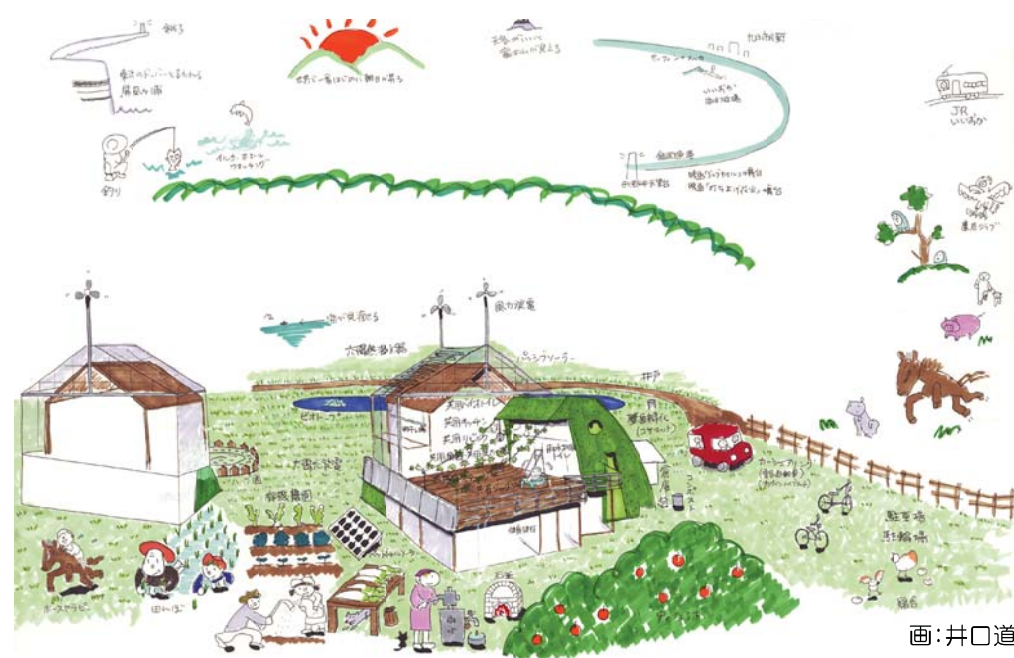
太陽光発電パネル

ペットボトルソーラー

バイオトイレ

海のステージ  
(雨水を利用した打ち水効果)

東側上方より建物全体を見る



画:井口道代



敷地から海を望む



敷地から見える朝日



敷地パノラマ



屏風ヶ浦の断崖